

# ブーベ島ペディションが 私に与え、教えてくれたもの

久しぶりにDXハンティングにワクワク、ドキドキしちゃって  
忘れていたアレを思い出してしまったというお話し

JM1LZT 富山俊一

2023年2月、30数年ぶりに南極圏の無人島であるブーベ島からDXペディションの電波が世界に向けて発せられました。

近い過去に複数のグループが何度かトライしたものの、様々な障害に阻まれ、やっと実現したのが今回です。世界のDXCCのWANTED LISTで2位(1位は北朝鮮)の激レアさんエンティティ。「ここさえ出来ればDXCCは上がり」という方が世界中にかなりいると想像されます。

業界復帰以来、国内コンテストに血道を上げっぱなしの私は、DXはほとんどなかったかのようなフリをしてきましたがサイクル25が本格化してきた中でのブーベ祭り、さすがに無視は出来ませんでした。正確に言えば「乗っかってみた」というところでしょうか。過去にDXに血道を上げていた頃、250エンティティちよいぐらいはやってましたが、まだ未交信のエンティティが100近くあるわけで、正直言って、ブーベが出来ても出来なくてもDXCC的には大勢に影響ありませんf^\_^;

しかし、「(レアな)DXと出来るとうれしい♪」という「忘れかけてたフィクション」にもう一度乗っかってみようと思ったわけです。「DX屋リハビリとしてのブーベ」ですね。

まずは「史上空前のパイル」を「聞いてみたい」というのがありました。我が家のアンテナ事情から、聞こえる(見える)としたら21か28MHzのCWかFT8だと思ってましたが、何とオンエア開始直後はほとんどが10と18MHz。これには参りました。WARCバンドのアンテナ、私は何も持ってません。;いずれクラシックバンドの運用が始まると信じて

ましたが、知る限り最後まで 14MHz の運用はありませんでした、クリ  
ビツ^^;

で、意を決して急遽 18MHz の DP をでっち上げることに。なんとか本  
体は出来たもののベランダに設置しようとした日が雨。しょうがなしに  
翌日に作業を延期したところ、ナントその日で QRT…(^\_^;;

結局、私は予定通り(?)QSO は出来ませんでした、本当に盛り上  
がりまくりの約 2 週間でした。

昔と違い、ネット経由で一行の動向がリアルタイムでかなり分かり、  
メンバーの方々の苦労が偲ばれました。寒さはもちろん、強風にも耐  
え、最後は食料が尽き、発電機の燃料が無くなるまで電波を出し続け  
た彼らに拍手です。運用周波数、モードの偏りや、FT8 の送受信タイ  
ミングのズレなど問題点も多々ありましたが、莫大な時間とお金をか  
け、命を危険にさらしながら、ただ「激レアだから出来るとうれしい」と  
いうニーズ応えるためだけにがんばった彼ら。

この数年、まがりなりに「移動無線屋」をやってる身としては、移動  
特有のツラさ、キビしさが昔よりは分かってきました。私なんかの何倍  
も困難な状況を克服し、目的を達成したブーベのメンバーは、掛け値  
なしに素晴らしいと思います。

こうした彼らの一連の行動にほだされ、私の DX への情熱に再び  
火がついてしまったようです。サイクル 26 の時、無線をやっていられ  
るかアヤシイ身としては、これからの数年が「失われた 30 年」を取り  
戻す日々になりそうです。

なんてたって「DX と出来るとうれしい ♪」わけですから(^o^)